



非遺伝子組換作物の アップデート

SSOY
Delivers Solutions

USSEC

輸出業者および農業従事者からの作物品質のフィードバック

イリノイ

- 収量良好。品質かなり良好。90-95%収穫済み。さらに北部では、収量に少し当たり外れがある（降雨）。収量は平均。タンパクは平均より上。収穫はほぼ終了。

インディアナ

収量良好。品質良好。収穫はほぼ終了。種子サイズは正常。

オハイオ／ミズーリ

収量良好。品質良好。収穫は州中央部ではほぼ終了。タンパクは平均のように思われる。

- シーズン初期に乾燥していた問題のある地域は、収穫時期間近には湿潤な土地になった。



輸出業者および農業従事者からの作物品質のフィードバック

ノースダコタ

- 平均よりやや上の良好な収量。品質良好。90-95%収穫済み。

ミネソタ

- 平均的収量。品質良好。種子サイズ。正常なタンパクが予想される。

ウィスコンシン

- 南ウィスコンシンはかなり良好と思われる。品質良好。タンパクは良好と思われる。収穫はほぼ完了。
- 北ウィスコンシン- 後期は湿潤な状態。70-75%収穫済み。タンパクはやや低い。収量と種子サイズは良好。



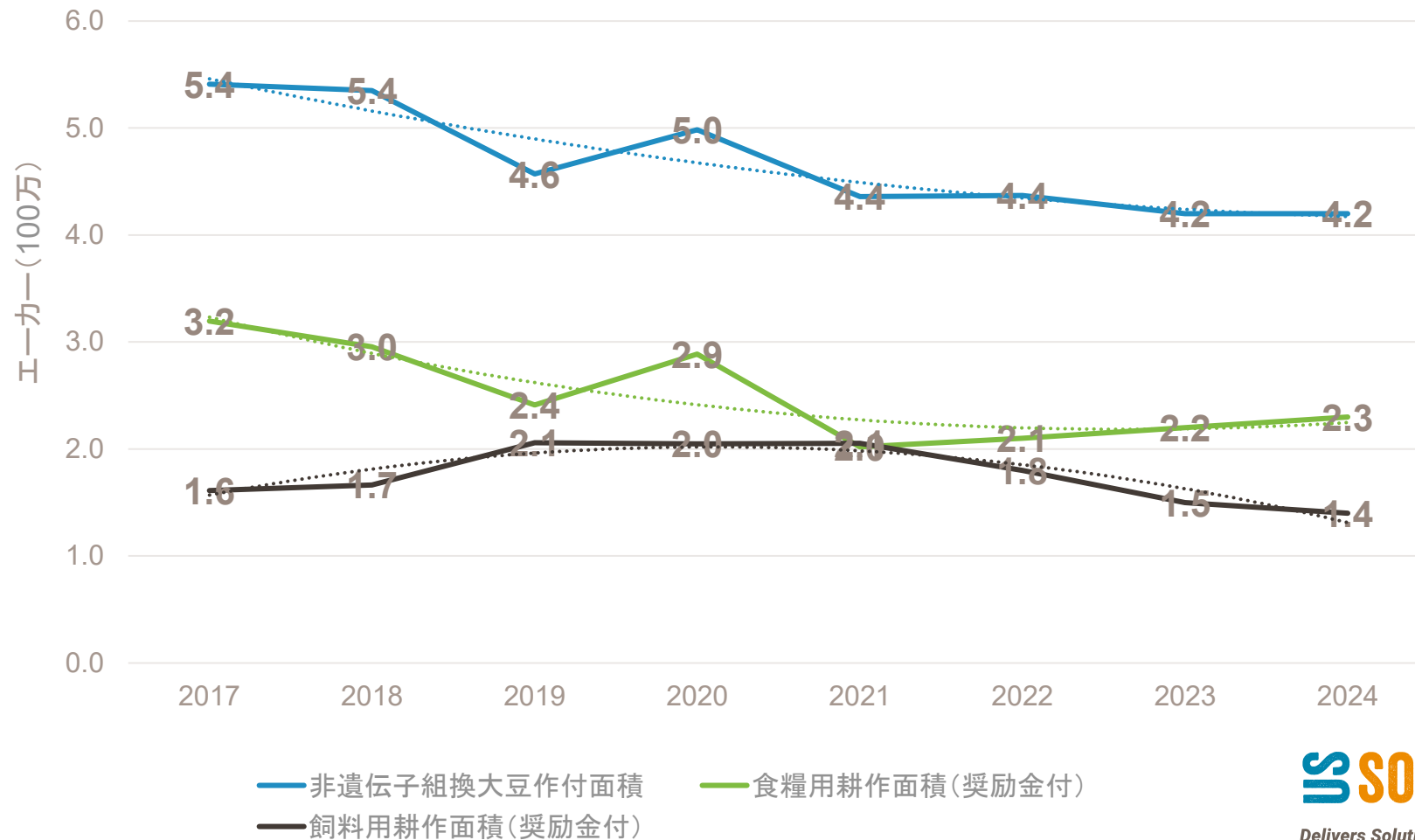


非遺伝子組換作物の 生産

SSOY
Delivers Solutions

USSEC

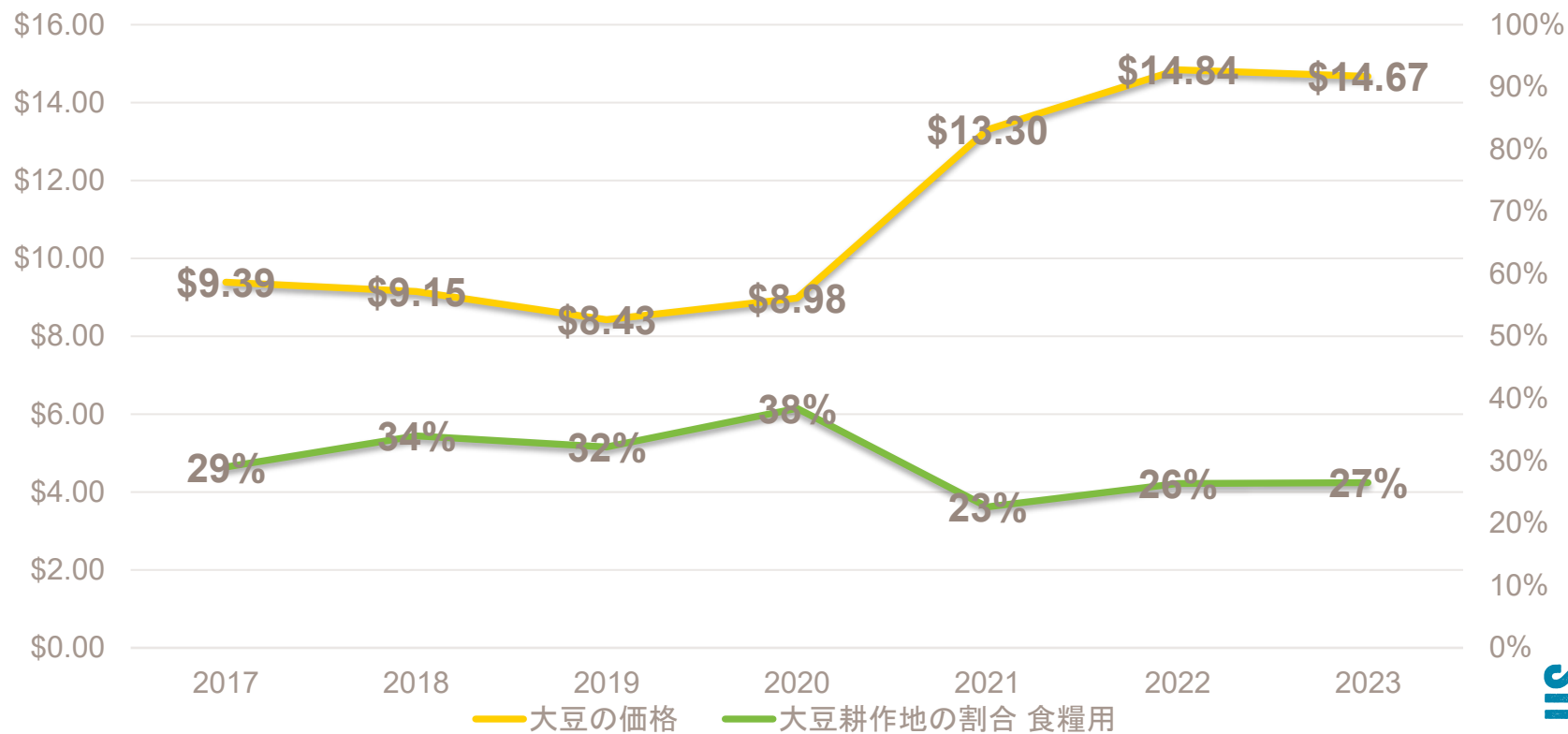
アメリカにおける非遺伝子組換大豆耕作面積の推定値



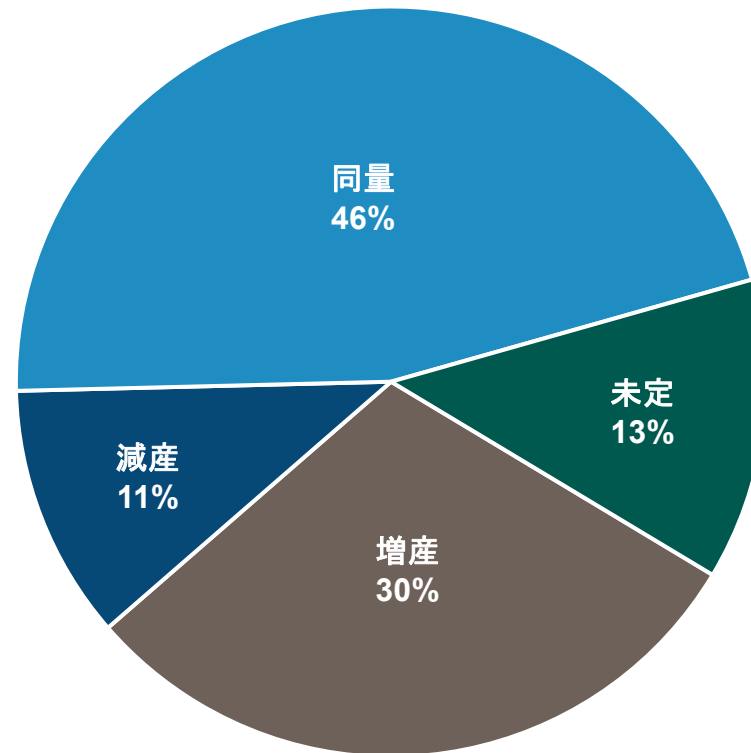
二次データ

	2022	2023
アメリカ大豆の総作付面積(100万) ¹	87.5	83.6
アメリカ大豆ブッシェルの総数(100万)	4,276	4,146
アメリカ非遺伝子組換大豆作付面積(100万) ¹	4.37	4.18
奨励金なしで販売されるアメリカ非遺伝子組換大豆の割合 ³	11.7%	12.5%
奨励金なしで販売されるアメリカ非遺伝子組換大豆	512,441	522,492
奨励金のために販売されるアメリカ非遺伝子組換大豆(100万)	3.86	3.66
遺伝子組換大豆の平均収量(ブッシェル/エイカー) ¹	49.5	50.1
輸出されるアメリカ大豆の推定メトリックトン数(100万) ²	54.2	48.72
輸出されるアメリカ大豆の推定ブッシェル数(100万) ²	1,990	1,790

IP(分別生産流通管理された)の非遺伝子組換え大豆耕作地の割合 食糧用でシカゴ商品取引所扱いの大豆の価格

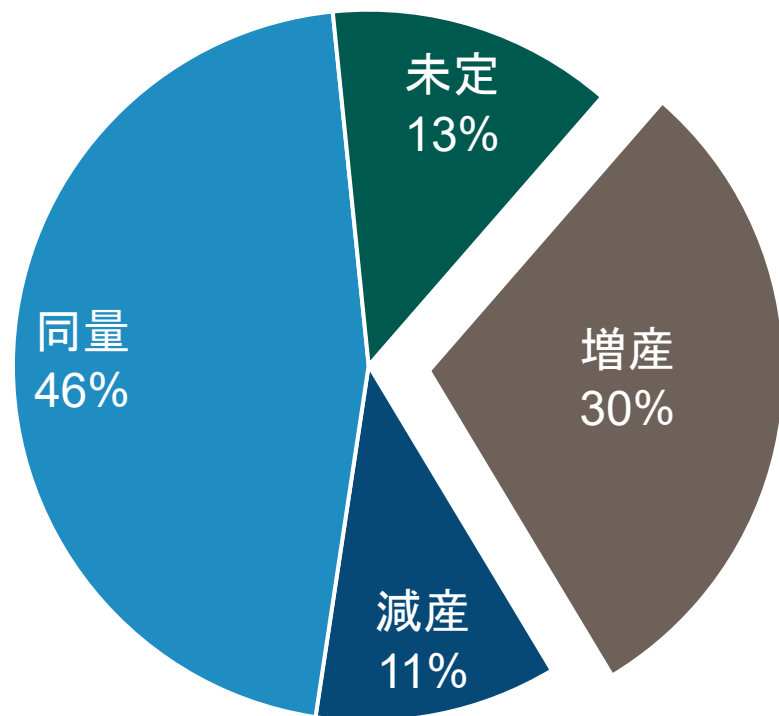


非遺伝子組換え食糧用大豆の 生産者の今後数年間の変化（生産者の割合）



出典：今後数年間の可能性として、食糧用でIP(分別生産流通管理された)の非遺伝子組換え大豆について増産する、減産する、あるいは同量を作付けますか？

非遺伝子組換えで食糧用大豆を増産する理由



増産する生産者の
19%の正味数量

2023年に
受け取った奨励金

\$2.45

Base
growers=63

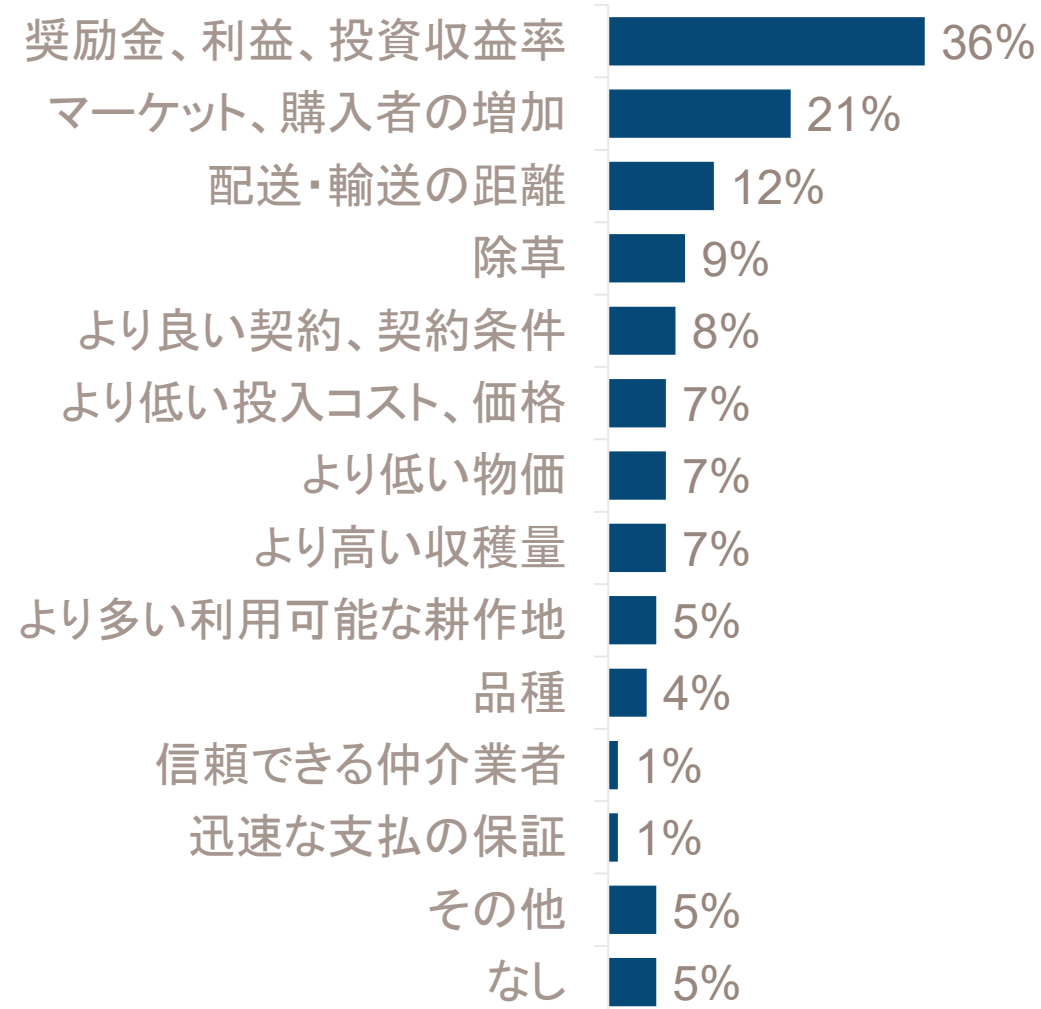
耕作面積の増加に
必要な奨励金

\$2.58

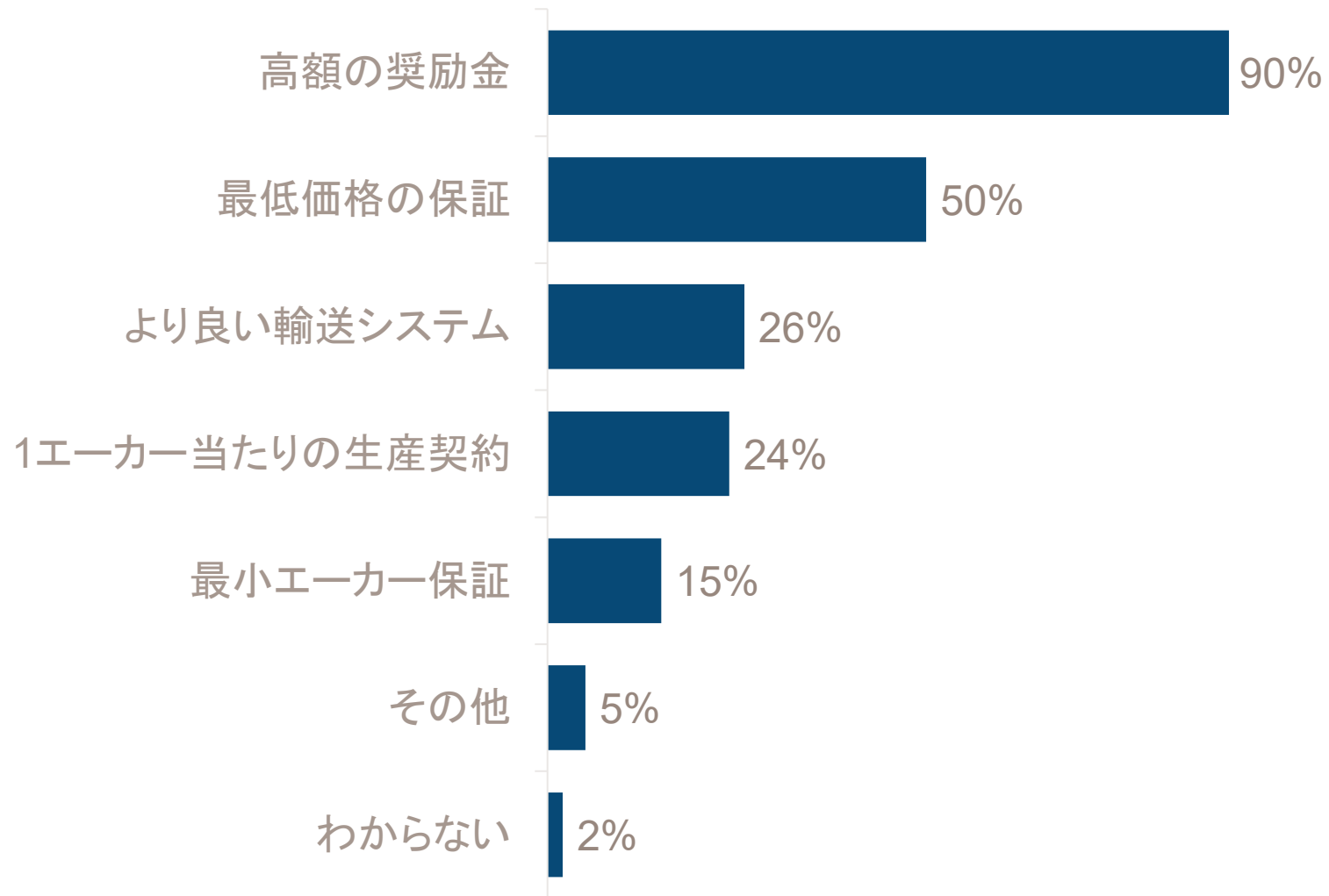
Base
growers=93



非遺伝子組換えで食糧用の大豆増産のための市場のシグナル



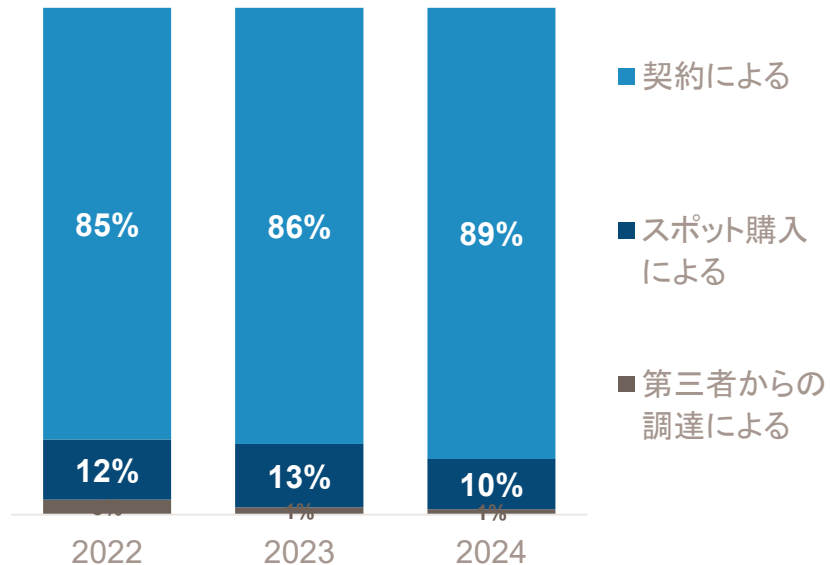
非遺伝子組換え食糧用の大豆生産奨励のために 購入者はなにができるか。



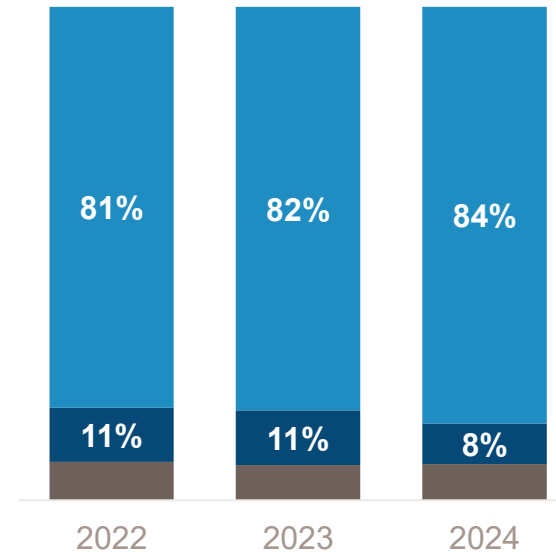
輸出業者はどのように 非遺伝子組換大豆を入手しているか

非遺伝子組換食糧用大豆(2023年は82%)をはじめ、ほとんど全ての非遺伝子組換大豆は契約によって入手される。購入者は、来年は非遺伝子組換契約の作付面積が増え、スポット買いの調達は減ると予想している。

全ての非遺伝子組換大豆



非遺伝子組換食糧用大豆

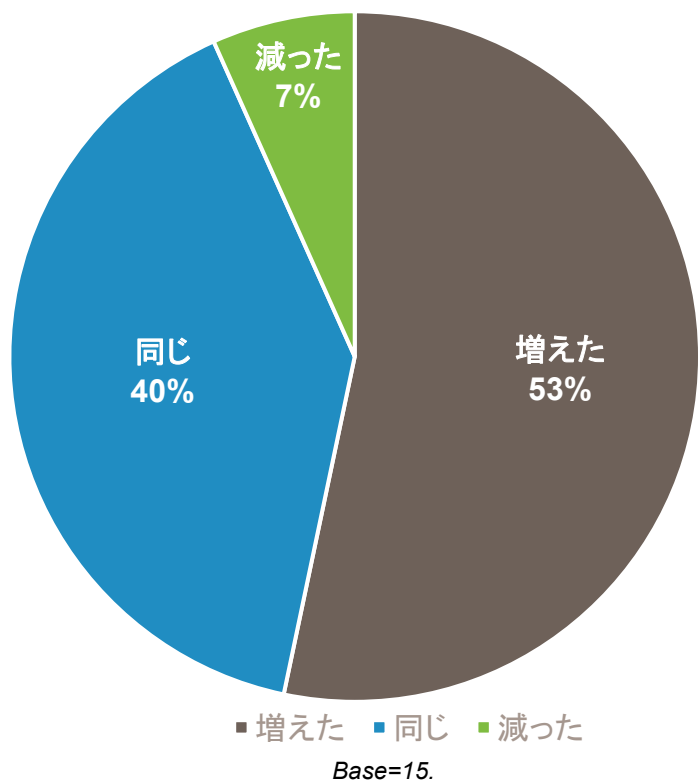


非遺伝子組換え食糧用大豆の需要の変化と購入者の需要を満たす能力

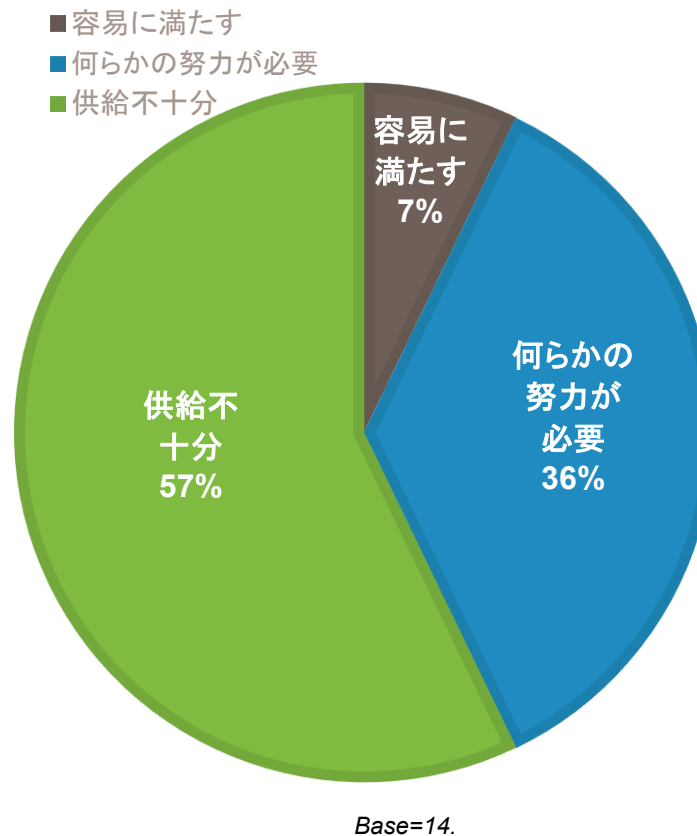
IP(分別生産流通管理された)の非遺伝子組換え食糧用大豆の需要の

87% は満たされている。

上流需要の変化



2023年の需要を満たす能力



購入者と生産者は非遺伝子組換え大豆についていつ決定するのか

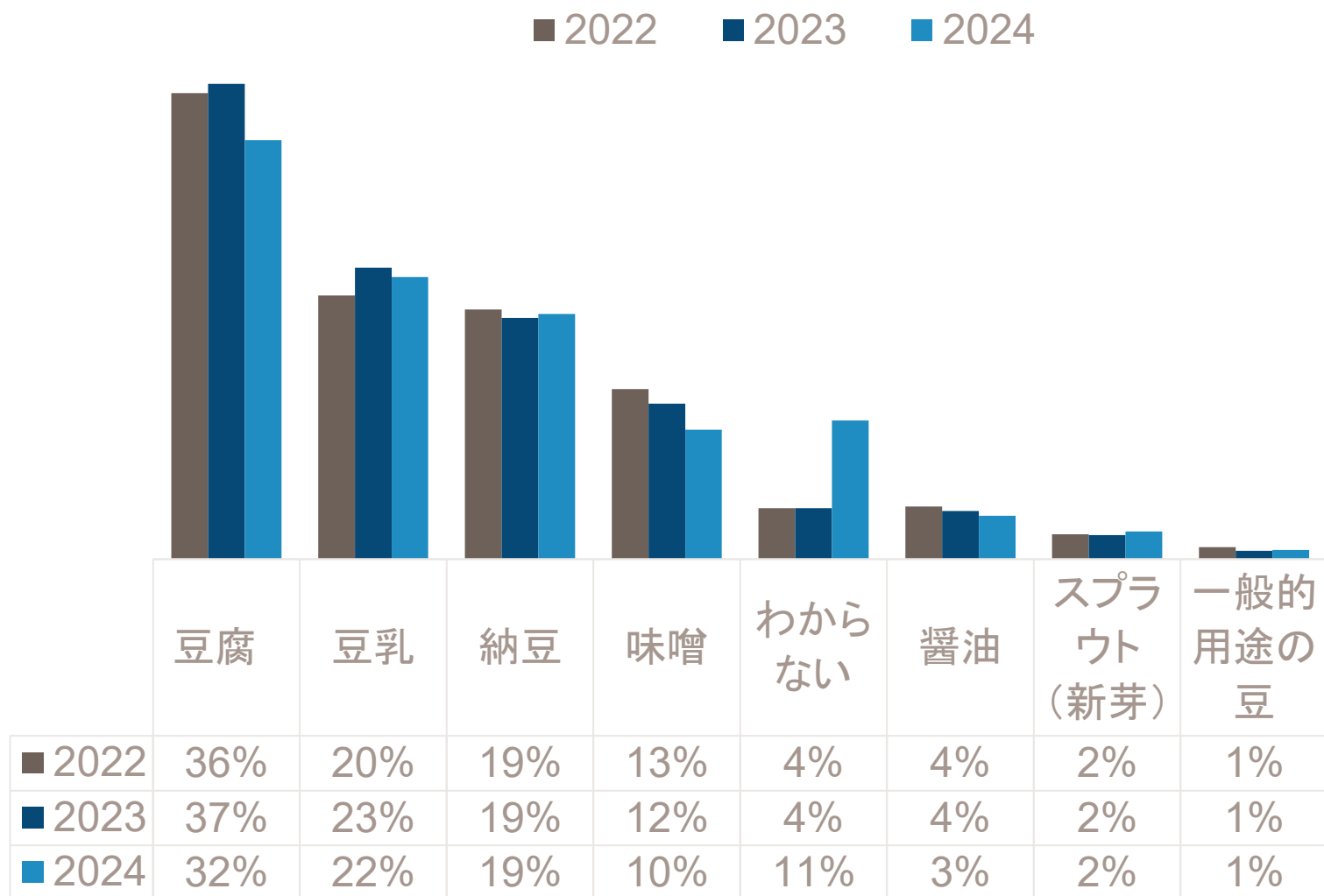
購入者が決定する時期

生産者が決定する時期

	前のシーズン		同じシーズン	
1月	0%	33%	33%	22%
2月	0%	10%	33%	11%
3月	0%	5%	13%	6%
4月	0%	5%	0%	7%
5月	0%	2%	0%	5%
6月	0%	1%	0%	4%
7月	7%	4%	0%	1%
8月	27%	5%	0%	3%
9月	47%	11%	7%	3%
10月	60%	17%	13%	4%
11月	60%	23%	7%	3%
12月	53%	28%	0%	5%

生産者も購入者も、次のシーズンについて、非遺伝子組換えの決定を10月と1月の間に行っている。

指示された最終用途のために購入する非遺伝子組換え食糧用大豆の割合





大豆品種データベースの アップデート

SSOY
Delivers Solutions

USSEC

アメリカ大豆の品種データベース

アメリカ大豆の品種データベースによろこそ。大豆製品に使用する大豆の調達にとって最高の目的地です。

これは、約300品種を取り上げており、豆腐、豆乳、納豆、味噌などの大豆製品に使用するアメリカ大豆の最も総合的なデータベースです。このデータベースは、油分、タンパク質の含有量、アミノ酸の含有量、原産地等の品質特性に関するデータを提供します。



Filter By

Intended Use

- Specialty Animal Feed
- High Oleic
- High Protein
- Low Lipo
- Miso
- Natto
- Soy Milk
- Soy Sauce
- Tofu
- General Use

Type

Protein Level Range (DRY)

31 to 50

DRY

13%

Varieties

CURRENT SAMPLE DATA

2020

2021

2022



VARIETY
07A10

INTENDED USES
Soy Milk

TYPES
Non-GMO

HILUM COLORS
White, Yellow, Clear

SIZES
Medium

G/100 SEEDS
19.1

PROTEIN (DRY)
40.44

OIL 13%
17.95



VARIETY
1114

INTENDED USES
Soy Milk, Other

TYPES
Non-GMO

HILUM COLORS
White, Yellow, Clear

SIZES
Medium

G/100 SEEDS
15.7

PROTEIN (DRY)
40.08

OIL 13%
19.31



アップデート :

- ・ 4年目のデータを含めた1月／4月の更新データ
- ・ 各品種間の比較
- ・ 分類項目（タンパク、11s/7s、サイズ）

Sort by: 

SWVXX x	SCHX x	SCHG x
---------	--------	--------



質問はありますか？

SSOY
Delivers Solutions

USSEC